

令和5年度

国分高校生と乳幼児親子のふれあい交流

10月27日・11月1日・2日に行いました。



今年はとても気持ちの良い秋晴れの天気恵まれ、国分高校生 52 人と乳幼児親子 29 組が参加し、充実したふれあい交流を実施することができました。高校生が進行を務め、手遊びや手作り絵本を親子と楽しんだり、アルバムやエコー写真を通して出産や育児の話をお母さん・お父さんから聞いたり、子どもたちと触れ合った50分間はあっという間でした。小さな子どもに接するのが初めてで緊張している高校生に、お母さんから「抱っこしてみる？」と声をかけてくださり、一気に満面の笑みを浮かべた顔が印象的でした。

今年、高校生の時にこの事業に参加してとても楽しかったので、次は母となってこの事業に参加したい！と考えていたという保護者もいらっしゃいました。2008年から続いているこの事業が、しっかり定着し次世代育成に役立っていると実感し嬉しく思いました。

事業に参加してくださった乳幼児親子の皆様、運営のサポートを引き受けてくださった地域の主任児童員の皆様ありがとうございました。



市川市 中央こども館

【絵本タイム】★夏休みから一人1冊絵本を作成するという課題に取り組んでいて、どんな内容がわかるかな？実際に触って遊べるもの良いかな？など試行錯誤を繰り返し、世界に1冊のステキな絵本が出来上がりました！素材の違いを触って感じたり、つけたり外したりできる仕掛けにこども達も大喜び！何度も繰り返し遊んだり絵本を読む高校生の膝にちょこんと座ったりする子どもの姿がとても可愛らしかったです。



うたって…



はずして…



さわって…



めくって…



ひっぱって…

【育児体験談】★保護者の皆様から妊娠から出産までの様子を、エコー写真や母子手帳などを見ながら話していただきました。初めて見る胎児の写真にびっくり！自分の時はどうだったのかな？と、親に聞いてみたくなったと高校生の感想が印象的でした。



生まれた時の等身大パネルと比べっこ



見て～！私が表紙のいちかわ広報！

高校生の感想

- ずーっと楽しみにしていたので、とにかく幸せな時間でした！！
- どういうふうに接すればよいかとか、どんなことをすれば楽しんでもらえるかを考えて行動すること自体新鮮で楽しかった。
- こどもの笑顔は世界を救えるなと思いました。
- お話ができなくても行動から考えていることを読み取る大切さを知った。
- いろんなものに興味があって好奇心旺盛で、気づいたらどこかに行ってしまうので目が離せないと思った。

【ふれあいタイム】★緊張している高校生に、「抱っこしてみる？」と声をかけてくださり、一気に笑顔があふれぐっと距離が縮まりましたね！子どもの目線に合わせて手遊びや読み語りをしてくれる高校生の姿を見て、お母さんたちも嬉しそうに見守ってくださいました。

久しぶりのごっこ遊び！



抱っこは気持ちいいね



※感想は一部抜粋で記載しています。

親子さんの感想

- ふだん、交流することがない世代の子たちとお話できてうれしかった。
- 人見知りのある娘が、お姉さんたちが優しく関わってくれるうちに笑顔が増え、楽しんでいる姿が見られました。私も、妊娠～出産、今までの振り返り親子とも良い機会となりました。
- 小人数グループだったので、話しやすくて良かった。高校生もたくさん気遣ってくれて、たくさんお話できてパワーをもらいました。
- 高校生がかわいくて、我が子の将来が楽しみになりました。絵本のクオリティが高く驚きました。